



## 2021 オートバックス全日本カート選手権 OK 部門 第1戦・2戦

開催場所 鈴鹿サーキット(三重県)  
開催日 5月22日・23日  
参加台数 OK クラス36台(フルグリッド34台)  
天候 土曜日 晴れ / 日曜日 晴れ  
路面状況 土曜日 ドライ / 日曜日 ドライ

～INTREPID JAPAN CORSE～

監督：佐藤奨二  
ドライバー：佐藤凌音  
メカニック：伊藤進 / 仁科真一  
エンジン担当：K SPEED WIN  
アドバイザー：井上寛之



### 2021 全日本カート選手権 第1&2戦 (鈴鹿サーキット/南コース)

2021年シーズンの全日本カート選手権、最高峰カテゴリーの OK クラスがついに開幕。昨シーズンの最終戦の地でもあった鈴鹿サーキット南コースにてアジア最高峰カテゴリー、タイヤ 3 メーカーが激突するレースがかえってきた。今年の INTREPID JAPAN CORSE チームはドライバーは OK クラス 3 年目となる佐藤 凌音(さとう りょうと)選手が今年もエントリー。本年はレースドライバー自体は 1 人となるが、縁の下の力持ちとして昨年に引き続き当レーシングチーム監督も務める佐藤奨二と、レース時にはアドバイザーを務める大ベテラン井上寛之がタイヤ開発を担当し、走行データの収集等にあたる。

レースウィークとなった 5 月下旬は例年より早い梅雨入りでレースウィークも当初は雨マークだらけの天気予報。しかし、週末が近づくにつれ、土曜日と日曜日には次第に晴れのマークに変わり始めていた。

チームは水曜日にピットエリアを設置、木曜日から走行を始める。

ルーキーイヤーから鈴鹿に強い佐藤凌音選手。去年はポールも取っている。

事前のテストでもタイムは十分で、あとは課題の決勝へのタイヤの持たせ方やレースの組み立てだ。チームは、ワークスならではのスペシャルパーツも投入している。なかでも GreyHound 社製のシートは昨年の最終戦からプロトタイプを投入し、そこからさらに改良を重ねた最新版のプロトタイプシート。シート自体を寝かさなくても通常のシートよりさらに10cm 低い形状はスペシャルタイヤのこのカテゴリーにピッタリで、事前のテストの好調の要因のひとつだ。佐藤得意の鈴鹿で初ポディウム。初優勝を狙いたいところだ。



佐藤 凌音 選手

## 【タイムトライアル】佐藤①組 3位(全体4位)



金曜日まで降り続いた雨も土曜日はあがり、どうやらドライコンディションでのレースとなりそうだ。佐藤はレインでもまずまずのタイム。土曜日のドライコンディションでも TOP グループのタイムを出している。抽選の結果①組に振り分けられた佐藤。まずは公式練習、ここではトップからコンマ2落ちの5位。タイヤのコンディションを考えると状況としてはかなり良い。タイムは昨年同様、傾向として①組の方が路面が軽くコンマ1程アドバンテージがあるように見える。14時30分にタイムトライアル①組はスタート。BRIDGESTONE タイヤ勢はタイムトライアルが2分ほどすぎてほぼ全車コースイン。佐藤毎年課題の場所取り……。今年は完璧に場所が取れたように思えたが、恐らく一番タイヤのコンディションの良いラップにスローペースのマシンと鉢合わせてしまい、ペースダウン……。その次のラップもアタックし何とか①組の3位タイムをギリギリでだした……。が、あとコンマ1でポールだったことを考えれば本当に悔やまれるラップ……。勿体ないラップであった。①組、②組の総合結果では①組のアドバンテージに助けられて総合4位。予選はB組として出走する。

## 【第1戦 予選】佐藤9位

土曜日はこの第1戦の予選B組がOKカテゴリー土曜日最後のスケジュールとなる。総合4位の佐藤は予選Bのフロントロウ、2位よりレースに臨む。16時30分にスタート。しかし、佐藤はスタートに失敗……。大失速で最下位へ沈んでしまう……。キャブかバルブか……。3年目のドライバーとしては不甲斐ないとしか言いようがない。エンジンが復調した佐藤は最下位からオーバーテイクをし続け、なんとか9位でゴール。得意の鈴鹿で勿体ない展開が続く……。



## 【第1戦 決勝】佐藤11位(フロントスポイラー脱落ペナルティ)

日は変わり日曜日。OKクラスは1大会2レース制であるため、第1戦の決勝レーススタートは朝9時30分からとなっている。佐藤は昨日の予選の結果から17位スタート。この決勝はスタートで前方へ、しかし軽く接触があり、この時点でフロントスポイラーが傾き、ペナルティの対象となった状態になったと考えられる。佐藤のペースは悪くないが、やはり昨日の予選で追い上げたときに少しタイヤには負担がかかり、TOPグループと比べるとコンマ1~2秒足りない。それでもできるところまで追い上げ9位でフィニッシュ。しかし上記の通りフロントスポイラー脱落ペナルティを受け、リザルトは11位へと後退している。



## 【第2戦 予選】 佐藤15位(1周リタイア)



気を取り直して第2戦の予選は再び予選 B組のフロントロウ、2位からのスタートだが、ここでも課題のスタートで失速。第1戦ほどではないが後方グループに飲み込まれそうになる…。なんとかこらえてバックストレートで2位を死守する。1周を終えてホームストレートに帰ってくる佐藤。ストレートでキャブレター調整をしたものの、ストレートエンドでエンジンが焼き付きスピニアウト…。まさかのセカンドチャンスヒート行きとなった…。

## 【第2戦 セカンドチャンスヒート】 佐藤7位(予選落ち)

ここでもフロントロウスタートと2位スタートに縁がある佐藤だが、当然ここでのスタートは見たくなかった…。佐藤も私達も気持ちを切り替えて、予選でストップしたのは1周目で逆にタイヤを温存でき、セカンドチャンスヒートの8周でタイヤを労わり決勝に向けたかったのだが、スタート直後から佐藤が失速…。結局最後までレースペースは戻らずベストタイムも5秒落ちという状態。エンジンの負圧がうまく取れておらず、結果は予選落ちとなってしまいました。今大会はスピードは例年にも増してあったにも関わらず、それを掴むことが出来ずに最悪とも言っている結果になりました。スピードやマテリアル以外にも多くの要因があったと思います。次戦オートパラダイス御殿場で開催される第3&4戦まで2カ月。テストをはじめサーキットにいる一瞬一瞬を無駄にせず、この雪辱のリベンジをドライバー、チーム一丸で行って欲しいと思います。大変残念な結果となりましたが、一生懸命戦いますので引き続きご声援を賜れば幸いです。次戦は7月10-11日に静岡県はオートパラダイス御殿場にて開催されます。



## ドライバー 佐藤 凌音 コメント



2021年はじめの鈴鹿大会ではレースに対する意識が甘かったために悪い流れを自分が作ってしまいこのような不甲斐ない結果となってしまいました。やるべきことは理解しているのでしっかりとこの結果を受け止め、切り替えて次に進むきっかけにしていきたいと思います。

今大会、応援して下さいました皆様、スポンサー様ありがとうございました！！

## INTREPID JAPAN CORSE 佐藤奨二 監督



今年は3シーズン目の凌音選手をレースドライバーに迎え、レースまでにしっかり練習をさせて挑んだ開幕戦。タイムトライアルでポジションングのミスもあり確実に取らないと行けない1位を逃した事が流れを悪くしてしまい、本来持っているスピードを全く生かす事が出来ませんでした。

そこは強豪揃いのこのクラスでは致命的なミスとなって、今回のリザルトとなってしまいました。

チームとしてしっかり現状を把握して、次戦までには改善して準備して行きたいと思います。

ポジティブな要素としてはスピードは最低限示せたと思いますので次戦は結果を残せるようにしたいです。

最後にレース参戦にあたり、スポンサー様をはじめサポートして下さいました方々に感謝致します。次戦は良い報告が出来るよう一層努力致します。

## INTREPID JAPAN レーシングチーム

